

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

9月19日(月・祝)

あま〜い! 自然栽培のコメづくり

木之本町杉野で、新潟県十日町市の農家、戸邊秀治さんを講師に迎え「自然栽培稲刈り実践勉強会」が行われました。

戸邊さんの農法は、田植えから稲刈りまで常に水を張るため、除草の必要がなく農薬をしません。微生物が繁殖しやすく肥料も不要。この農法で作られるコメはとても甘みが強く、高値で販売されます。参加者はこの農法を習得し、収益の確保につなげていきたいと意気込んでいました。



9月24日(土)

トーチウォークでPR

知的しょうがいのある人たちが、スポーツを通じて社会参加や自立を目指す「スペシャルオリンピックス」を広く知ってもらうため、中心市街地でトーチウォークが行われました。

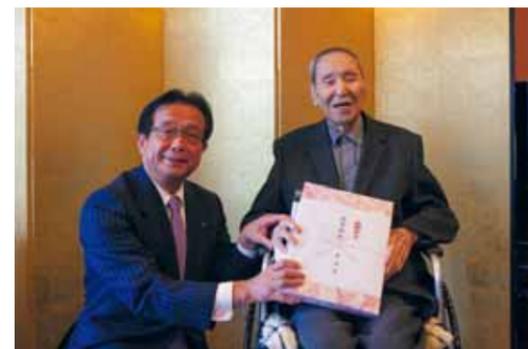
“We are the torch walk” の声とともに市街地を歩いてPR。曳山博物館広場では、ウォークを企画した長浜ロータリークラブから、スペシャルオリンピックス滋賀・湖北支部に卓球のロボマシン、フロアホッケーの防具等を寄贈する式典が行われました。

9月24日(土)

湖北の魅力を感じ

湖北地域を巡り、そのよさを体感するイベント「LOVE FOR KOHOKU 2016」が開催されました。

150kmと90kmのコースに分かれて湖岸道路や奥琵琶湖パークウェイなどを自転車で巡る「湖北ロングライド」や、豊公園を会場に巨大迷路やステージイベントなどが行われ、大勢の人が訪れました。ロングライドには128人が参加し、秋晴れの奥琵琶湖の風景を眺めながら、さわやかな汗を流しました。



9月30日(金)

102歳の石田さん ご長寿を祝って

敬老の日・老人月間にあわせて、市内男性最高齢者の石田正夫さんを藤井市長が訪問しました。

石田さんは、市長からお祝いと激励の言葉をかけられると、笑顔で応じ、祝賀品のタオルセットを受け取りました。

魚よりも肉が好きで、調理も時々楽しむと話す石田さん。これからもお元気でお過ごしください。

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

10月1日(土)・2日(日)

まちなかが芸術一色に染まる日

200以上の作家や団体が集まり、アートブースを展開する「アート・イン・ナガハマ」が開催されました。

所狭しと並んだ作家たちの作品を眺めて歩くだけでなく、作家と直接話しながら作品を楽しめるのがこのイベントの魅力。他にも、巨大なキャンパスに独創的な絵を描くライブペインティング、作品作りが体験できるワークショップや人形劇まつりなどが催され、街中にアートがあふれる2日間となりました。



10月9日(日)

勇壮な武者行列が戦国時代を再現

中心市街地一帯で「豊公まつり」が行われ、市内外から多くの見物客が訪れました。

賤ヶ岳の合戦で柴田勝家を破った豊臣秀吉の凱旋を再現した武者行列では、甲冑をまとった武者や稚児たちが豊国神社を出発し、商店街などを練り歩きました。

武者が辻々で勇ましく見得を切る姿や、子ども武者が上げる勝どきなどのパフォーマンスが観客を沸かせました。

10月10日(月・祝)

笑いと感動のパフォーマンス

世界で活躍するパフォーマーが集まる「大道芸フェスタ in 虎御前」が、虎姫生きがいセンター前で開かれました。

パントマイムやジャグリング、バルーンアートなど様々なジャンルのパフォーマーが出演し、華麗な技で観客を魅了しました。

他にも、多くの飲食ブースやフリーマーケットが軒を連ねたほか、パフォーマーが会場内を巡ってコミカルな動きで笑顔を振りまくなど、盛りだくさんのイベントとなりました。



10月15日(土)

街中に鮮やかな着物の華が咲く

中心市街地一帯で「長浜きもの大園遊会」が開催され、700人を越える人々が着物姿でのまち歩きを楽しみました。

スペシャルゲストとして招かれたのは、NHK大河ドラマ「真田丸」で石田三成を演じた山本耕史さん。参加者は、石田三成や長浜について語る山本さんの魅力に触れました。

豪華景品が当たる恒例の大抽選会では、滋賀県出身の女優堀田真由さんが登場。爽やかな笑顔でプレゼンターを務めました。